

増加する老朽化橋梁の長寿命化に向けて

〈職員による橋梁パトロールを実施〉 多治見砂防国道事務所

1. パトロール期間
平成22年11月8日～12月24日
 2. パトロール対象橋梁
国道19号41橋、21号11橋 合計52橋



橋桁端部の状況を点検

3. 概要

限られた予算の中で効率的に橋梁を維持するために、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行い橋梁の寿命を延ばす(長寿命化)必要があります。そのため、平成21年度から橋梁定期点検を補完するために、橋梁パトロールを実施しています。昨年度実施した橋梁パトロールでは、重大な損傷になる前の軽微な損傷を発見し、早期に補修することが出来ました。今年度も引き続き、建設後40年以上経過した橋梁を対象として、職員が橋梁パトロールを実施しました。

なお、今回の対象橋梁52橋につきましては、特に重大な損傷は認められませんでした。来年度も、老朽化する橋梁の延命化に向け橋梁パトロールを実施し、道路利用者の皆様に安全で安心して利用いただける道路管理について参ります。



橋台のクラック箇所の叩き点検



支承部の点検



昨年占拠した資料と比較

10月27日(水)には、当時開通前の国道21号可児御嵩バイパス「木下大橋」において、当事務所管内の自治体職員とともに橋梁点検に関する技術研修会を実施しました。

した。
地域における橋梁の長寿命化
計画に役立ててもらうためで、机
上と現地において研修を開催しま
した。

今後とも地元自治体の方々とともに地域道路網の安全性・信頼性の確保につとめて参ります。

岐阜新聞 朝刊 平成22年10月29日(金)付掲載

A black and white photograph showing a group of approximately 30 people, mostly men in work clothes and hard hats, gathered around a large piece of construction equipment, likely a bridge inspection vehicle or crane. They appear to be receiving instructions or participating in a practical demonstration. The background shows some trees and industrial structures.

建設新聞 平成23年11月2日(水)付掲載